

絵画修復家のアトリエから

加賀優記子 絵画修復家

私は今、この原稿を書いているのは、実は8月のまだ蟬がミンミン鳴いている、夏の真只中です。でも、原稿が掲載されるのは10月。少しはこの真只黒に焼けた腕が白くなっているのでしょうか。

そして、今回で、お蔭様でこのオトボケコラムもなんと30回を迎える事になったので、何か一言、と言われました！

まさかそんなに書いていたという自覚がなかったもので、自分でもビックリな感じですけど……。「皆さん、長いこと読んで下さって……と言うか、こんな私に続けさせて頂いてどうもありがとうございます。例えば、はじめに「加賀さん、ちょっと書いてみる？」と言われ、ちょっとだけかなんどうかな、と軽い気持ちではじめて、最近では、あれ？まだ書いていい

からもうぞ宜しく！

この倍くらいある！ ああ、でも、なんとかそれでも私は夏休みが欲しい！と、大きなジケンが2つ、やってきたのです。ひとつは、パリに住む親友からの電話で、是非書いてみたいと思います。ご容赦の程を！

子供の幼稚園入学以来、ひどく疲れていたので、夏休みは本当にきつちりと取りたく思っていました。それで、6月はじめから、7月中旬にはすべての仕事が一段落するように気合を入れていたので、でも……。毎年そうであるように、今年も7月に入って、まるで呪われているかのようになつて、修復の依頼が舞い込んできました。

7月の終わりに、まだアトリエから出て行きそこなっているのは、モディリアーニ、佐伯祐三、16世紀イタリアの板絵、上村松園、尾形光琳、小山敬三、しかも他にも、7月に入って新しく転がり込んできた、大きなピュッフェの作品と、手のかかりそうなテオドール・ルソーの板絵などがあります。そして、これらのよ

うにあんまり有名じゃない作品は、まだ

この倍くらいある！ ああ、でも、なんとかそれでも私は夏休みが欲しい！と、大きなジケンが2つ、やってきたのです。ひとつは、パリに住む親友からの電話で、是非書いてみたいと思います。ご容赦の程を！

子供の幼稚園入学以来、ひどく疲れていたので、夏休みは本当にきつちりと取りたく思っていました。それで、6月はじめから、7月中旬にはすべての仕事が一段落するように気合を入れていたので、でも……。毎年そうであるように、今年も7月に入って、まるで呪われているかのようになつて、修復の依頼が舞い込んできました。

7月の終わりに、まだアトリエから出て行きそこなっているのは、モディリアーニ、佐伯祐三、16世紀イタリアの板絵、上村松園、尾形光琳、小山敬三、しかも他にも、7月に入って新しく転がり込んできた、大きなピュッフェの作品と、手のかかりそうなテオドール・ルソーの板絵などがあります。そして、これらのよ

うにあんまり有名じゃない作品は、まだ

この倍くらいある！ ああ、でも、なんとかそれでも私は夏休みが欲しい！と、大きなジケンが2つ、やってきたのです。ひとつは、パリに住む親友からの電話で、是非書いてみたいと思います。ご容赦の程を！

子供の幼稚園入学以来、ひどく疲れていたので、夏休みは本当にきつちりと取りたく思っていました。それで、6月はじめから、7月中旬にはすべての仕事が一段落するように気合を入れていたので、でも……。毎年そうであるように、今年も7月に入って、まるで呪われているかのようになつて、修復の依頼が舞い込んできました。

7月の終わりに、まだアトリエから出て行きそこなっているのは、モディリアーニ、佐伯祐三、16世紀イタリアの板絵、上村松園、尾形光琳、小山敬三、しかも他にも、7月に入って新しく転がり込んできた、大きなピュッフェの作品と、手のかかりそうなテオドール・ルソーの板絵などがあります。そして、これらのよ

うにあんまり有名じゃない作品は、まだ

この倍くらいある！ ああ、でも、なんとかそれでも私は夏休みが欲しい！と、大きなジケンが2つ、やってきたのです。ひとつは、パリに住む親友からの電話で、是非書いてみたいと思います。ご容赦の程を！

子供の幼稚園入学以来、ひどく疲れていたので、夏休みは本当にきつちりと取りたく思っていました。それで、6月はじめから、7月中旬にはすべての仕事が一段落するように気合を入れていたので、でも……。毎年そうであるように、今年も7月に入って、まるで呪われているかのようになつて、修復の依頼が舞い込んできました。

7月の終わりに、まだアトリエから出て行きそこなっているのは、モディリアーニ、佐伯祐三、16世紀イタリアの板絵、上村松園、尾形光琳、小山敬三、しかも他にも、7月に入って新しく転がり込んできた、大きなピュッフェの作品と、手のかかりそうなテオドール・ルソーの板絵などがあります。そして、これらのよ

うにあんまり有名じゃない作品は、まだ

この倍くらいある！ ああ、でも、なんとかそれでも私は夏休みが欲しい！と、大きなジケンが2つ、やってきたのです。ひとつは、パリに住む親友からの電話で、是非書いてみたいと思います。ご容赦の程を！

子供の幼稚園入学以来、ひどく疲れていたので、夏休みは本当にきつちりと取りたく思っていました。それで、6月はじめから、7月中旬にはすべての仕事が一段落するように気合を入れていたので、でも……。毎年そうであるように、今年も7月に入って、まるで呪われているかのようになつて、修復の依頼が舞い込んできました。

7月の終わりに、まだアトリエから出て行きそこなっているのは、モディリアーニ、佐伯祐三、16世紀イタリアの板絵、上村松園、尾形光琳、小山敬三、しかも他にも、7月に入って新しく転がり込んできた、大きなピュッフェの作品と、手のかかりそうなテオドール・ルソーの板絵などがあります。そして、これらのよ

うにあんまり有名じゃない作品は、まだ

この倍くらいある！ ああ、でも、なんとかそれでも私は夏休みが欲しい！と、大きなジケンが2つ、やってきたのです。ひとつは、パリに住む親友からの電話で、是非書いてみたいと思います。ご容赦の程を！

子供の幼稚園入学以来、ひどく疲れていたので、夏休みは本当にきつちりと取りたく思っていました。それで、6月はじめから、7月中旬にはすべての仕事が一段落するように気合を入れていたので、でも……。毎年そうであるように、今年も7月に入って、まるで呪われているかのようになつて、修復の依頼が舞い込んできました。

7月の終わりに、まだアトリエから出て行きそこなっているのは、モディリアーニ、佐伯祐三、16世紀イタリアの板絵、上村松園、尾形光琳、小山敬三、しかも他にも、7月に入って新しく転がり込んできた、大きなピュッフェの作品と、手のかかりそうなテオドール・ルソーの板絵などがあります。そして、これらのよ

うにあんまり有名じゃない作品は、まだ

昭和のはじめにテレビが来たときみたい

かには知らないが）グザはとも明るくて

互い咄嗟に発する言葉、愚痴、人に聞か

れてまずいことなんかは仏語になってし

まう。そういうことで、慌てる子供供

に「アトシオン！」（危ない！）なん

て叫んでしまう私たちは、子供が仏語を

覚えるいい機会だ、という淡い期待をこ

ちら側も抱いて、「グザちゃん」を受け

入れたのだ。

彼は最初に、グザビエをフランス風に

略して、グザーヴか、ザビエと呼んで下

さいと言った。にもかかわらず、次の日

の朝から私たちはすっかりそれを無視し

て、娘の奈那がグザちゃんと言いつた

のをきつかけにこうやって呼んでいる。

（彼はもう、あきらめたみたい。）

日本に来て、日本語を覚えるチャンス

なのに、来た日からすっかり私たちはフ

ランス語のみで「ぎやははー」と馬鹿話

をしている。（最初の話は、モチロン

「ジダン」だった。）むしろ、「外国に居

る」みたいな彼女はすっかり対抗して、

しかし3歳の彼女はしつかり対抗して、

グザちゃんが「ボンジー」と言うと、

「日本語にしてよ」と返している。

近所のおばさん達の問題である。まるで

こと無いからちよつとだけうちに貸して

って団地中の人から電話がかかってく

る。」と笑って言った。そして、テーブ

に、「外人が来た」ことにやたら舞いあ

がって居るのだ。娘と近所の公園に行く

度に「ねえ、お願いだからあの外人さん

たちとウチでパーティーやらせて」と言

いに来て、あまりにうるさいので、もう

ひとつの受け入れ先のご家庭に、フアビ

アン（これがもう一人の学生の名前）が

到着した際に、そこでパーティーを開い

た。そうしたら、本当にずつと「きゃ

あ！ 外人よ、うっそー、信じられな

い」と我々の会話の最中に何度も眼前に

携帯のカメラを差し出して撮りまくって

いた。とどめには、「こんど、息子にも

見せたいので、またパーティーをする

わ！」と言ったので、思わず私達は、シ

ーンとなつてしまった。

そういえば、私がポーランドの、とて

りな世界で私のルーブル時代の師匠と、

この私しか存在しないことが判つたそう

なのです。「へえ！ほんとう！」と、思

使った青色が、ドラクロワの日記の中で、

制作後すぐに変色したと書かれていて、

それがもともとどんな色だったかをバリ

のラポでCGグラフィックで再現するこ

とを私にできるかどうか、と言うものだ

だった。

巨大なので、そんなに気易く壁から降ろ

して修復できないし。1980年代に、

私達が修復の手を入れてから、誰かがこ

う色だったのなら、当時の色のサンプル

なんか残っているはずはない。では、N

HKからルーブルのラポに絵の具の分析

たのであー……で、とうとう菓子折

りが3つ目になったあたりで、だんだん

疑問に思ってきた訳なのだけれど、8月

には是非一緒にパリに行つて下さい、撮

影の中でも出演して下さい、と言われ

始めた時点でもっとも不安になって

きた。まさか、これも菓子折りで済んで

しまふのかな？ もしかして、飛行機代

も自腹で言うんじゃないかな？

それで、飛行機の予約のために、出発

2週間前という事で私の正式な名前と年

齢を聞かれた時、思わず仕事の報酬につ

き出して、調査することをよくしていた

ので、そうした貴重な文獻コピーも沢山

貰っていた。だから、ドラクロワに付い

て何か聞かれても、たいがい事は答え

られる。

しかし、今回の質問は、ドラクロワの

間もかかって知識を伝える作業は並大抵

の事ではなかった。なんだか、私の方が

家の母と仕事関係に、8月はパリに行く

ので仕事を休む、と話をした。

さて。実家では、子供を連れてゆく事

を心配する母をなだめるのにこずつた

し、電話をかけたまま全部の仕事もキ

リ方には腹は立った。出演する見栄えの

いい外人さん、気をつける、お礼は菓子

折り一つだよ！ しかもドタキャンあり、

だよ！

それにしても、ウチの近所でも、NH

Kにでも、「外人コンプレックス日本

人」の姿があるんだと思つた。とにかく

く、外人が（白人が）すべてをグレー

ド・アップさせるのだ。

そりゃあ、ワタシなんざ、ダイエツト

しそびれていて、画面に出るのはまずい

とか、以前にフジテレビの人に民放キ

ヤラだと言われ、初対面でもNHKの人

に同じ事を言われたので、どうも真面目

か？」と、かるーく電話で逆にキャンセ

ルを言い渡されてしまった。……！！

ただだかもう、ほんとに受信料払いた

らなくてもいいよ、と、

……かくして、私の夏休みは、こんな

にもさんざんだったのです。ああ、休み

を取るのって、本当にむづかしいのね！

（つづく）

かゆきこ ●絵画修復家。大学卒業後、

絵画の古典技法を学ぶためにパリに留

学。ルーブル美術館の絵画修復員を経て、

現在は調剤で修理工房を主宰。